

壁の配置  
現状

# 建築基準法（四分割法）

建物名 見本 太郎

---

四分割法判定表

四分割法存在壁量明細表

四分割法平面図

四分割法床面積根拠図

四分割法床面積計算表

■注意事項

- ・平成12年建設省告示第1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」に基づき、壁量充足率および壁率比を用いて軸組を釣合い良く配置する方法に準拠した計算を行います。
- ・四分割法と偏心率の判定結果については、平成12年建設省告示第1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」により、いずれかの判定が適合となること、とされています。

一級建築士事務所（知事）13493号  
一級建築士事務所 花設計工房  
〒252-1121  
神奈川県綾瀬市小園1431-14  
TEL0467-55-5056  
FAX0467-81-4228

壁の配置  
現状

四分割法判定表

日付: 2014年04月21日 11:50:21  
建物コード: 002212  
見本 太郎

■ 建物情報

屋根の重さ	重い屋根
建物の階数	2階建て

■ 壁量係数

壁量係数	軽い屋根	重い屋根
2階建の2階	15	21
2階建の1階	29	33
平屋建または下屋	11	15

■ 建物長さ1/4長さ

階	方向	全長(m)	1/4長さ(m)
2	X	12.740	3.185
	Y	7.280	1.820
1	X	12.740	3.185
	Y	8.190	2.048

■ 使用壁材一覧

材種名	壁倍率
筋かい(30×90)(たすき掛け)	1.5(3.0)

■ 判定

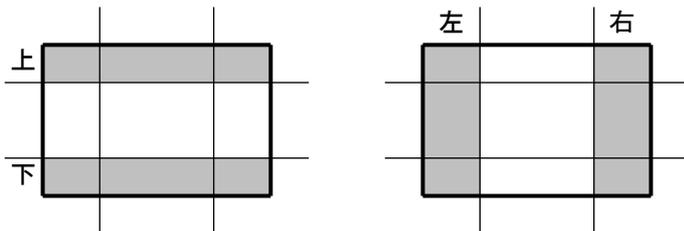
階	方向	位置	有効面積 (㎡)	壁量係数 (cm/㎡)	必要壁量 (cm)	存在壁量 (cm)	壁量充足率 (⑤=④÷③)	充足率判定 (⑤>1.00)	A		B		C	
									壁率比 (⑥=⑤小÷⑤大)	壁率比判定 (⑥≥0.5)	判定 (AorB=○)			
2	X	上	23.19	21	486.99	546.00	1.12	○	0.87	○	-	-	○	
		下	13.25	21	278.25	273.00	0.98	×						
	Y	左	14.50	21	304.50	546.00	1.79	○						
		右	23.19	21	486.99	546.00	1.12	○						
1	X	上	26.10	33	861.30	1228.50	1.42	○	0.46	×	-	-	×	
		下	12.43	33	410.19	273.00	0.66	×						
	Y	左	18.84	33	621.72	750.75	1.20	○						
		右	23.61	33	779.13	955.50	1.22	○						

- ①有効面積：建物の幅、奥行き長さを1/4分割した部分の端部の面積  
跳ね出しバルコニーは該当面積の40%を1階の有効面積に加算します。
- ②係数欄の※は、「平屋建てまたは下屋」の係数を用いたことを表します。
- ④存在壁量は、「四分割法存在壁量明細表」を参照ください。
- 充足率判定が×の場合は、壁率判定を行います。
- 判定は、「壁量充足率」が1.00を超える、または「壁率比」が0.5以上であれば  
"○"となります。

【四分割法判定】

判定がすべて"○"の場合 → 適合  
判定がひとつでも"×"の場合 → 不適合

【四分割範囲】



四分割法判定  
**不適合**



**壁の配置  
現状**

**四分割法存在壁量明細表  
(2階)**

日付: 2014年04月21日 11:50:21

建物コード: 002212

見本 太郎

■2階X方向上の存在壁量(cm)

上	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
	y9	136.50	136.50	136.50	136.50									
													上 壁量合計(cm)	546.00

■2階X方向下の存在壁量(cm)

下	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
	y1	136.50	136.50											
													下 壁量合計(cm)	273.00

■2階Y方向左の存在壁量(cm)

左	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
	x0	136.50	136.50	136.50										
x2	136.50													136.50
													左 壁量合計(cm)	546.00

■2階Y方向右の存在壁量(cm)

右	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
	x14	136.50	136.50	136.50	136.50									
													右 壁量合計(cm)	546.00

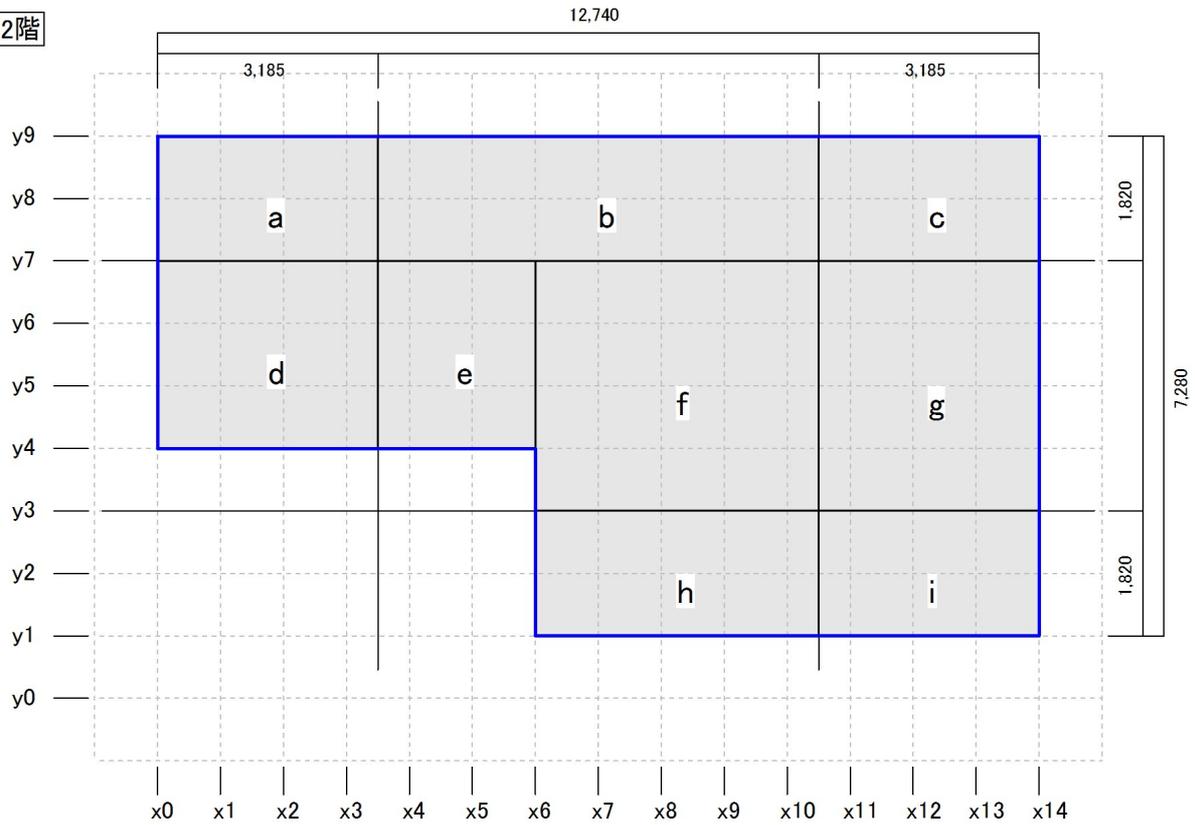
- ・建物長さをそれぞれの方向で1/4境界線で分割した上下左右の区画に含まれる壁量を集計します。
- ・各通りに存在する耐力壁(筋かい・面材)毎の有効壁量を壁1、壁2、…と表示しています。  
(有効壁量 = 耐力壁の壁倍率 × 長さ とします)



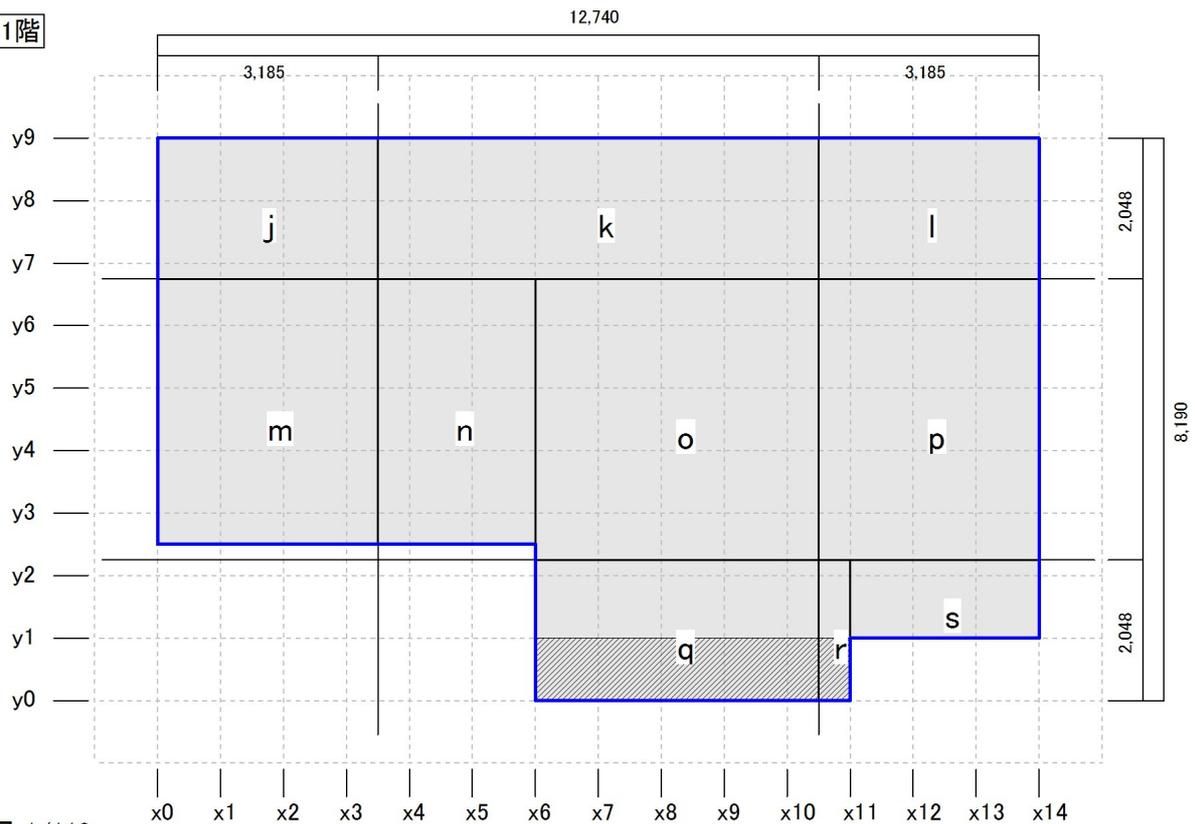
# 壁の配置 現状

## 四分割法床面積根拠図

2階



1階



縮尺 1/110

凡例 □ 床面積区画    ▨ オーバーハング    ▩ バルコニー

a b c …… 床面積区画名

Ka Kb Kc …… 床面積区画名(小屋裏収納等)

Ba Bb Bc …… 床面積区画名(バルコニー)

壁の配置  
現状

四分割法床面積計算表

日付: 2014年04月21日 11:50:21  
建物コード: 002212  
見本 太郎

■ブロック別床面積計算表

[1階]

区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (㎡)	備考
j	2.048	3.185	6.5228800	
k	2.048	6.370	13.0457600	
l	2.048	3.185	6.5228800	
m	3.867	3.185	12.3163950	
n	3.867	2.275	8.7974250	
o	4.094	4.095	16.7649300	
p	4.094	3.185	13.0393900	
q	2.048	4.095	8.3865600	
r	2.048	0.455	0.9318400	
s	1.138	2.730	3.1067400	

[2階]

区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (㎡)	備考
a	1.820	3.185	5.7967000	
b	1.820	6.370	11.5934000	
c	1.820	3.185	5.7967000	
d	2.730	3.185	8.6950500	
e	2.730	2.275	6.2107500	
f	3.640	4.095	14.9058000	
g	3.640	3.185	11.5934000	
h	1.820	4.095	7.4529000	
i	1.820	3.185	5.7967000	

■四分割対象面積

階	方向	位置	計算式	面積 (㎡)
2	X	上	(a+b+c)	23.19
		下	(h+i)	13.25
	Y	左	(a+d)	14.50
		右	(c+g+i)	23.19
1	X	上	(j+k+l)	26.10
		下	(q+r+s)	12.43
	Y	左	(j+m)	18.84
		右	(l+p+r+s)	23.61

■記号の説明

- 「備考」:
- → 跳ね出しバルコニー範囲(跳ね出し部分面積 × 0.4)
  - ◇ → 小屋裏収納等範囲(小屋裏収納等の水平投影面積 × 1.4 ÷ 2.1)
  - ◆ → 小屋裏収納等重複範囲(小屋裏収納等の水平投影面積 × 1.4 ÷ 2.1 × 2)
  - ▲ → 三角形区画